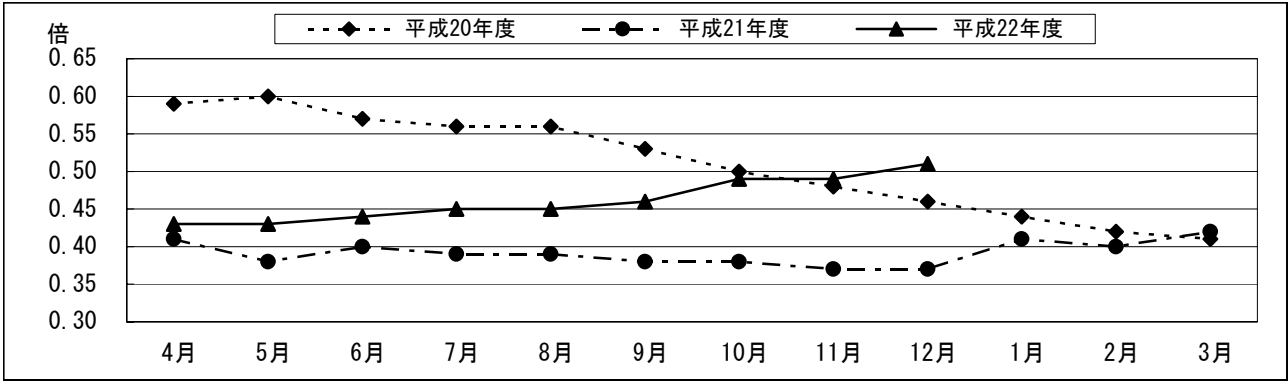


有効求人倍率の推移（季節調整値）



職業紹介主要指標

項 目		22年 12月	22年 11月	前月比 (差)	21年 12月	前年同月比 (差)	
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	4,772	6,205	▲ 23.1	4,951	▲ 3.6	
	2. 月間有効求職者数	24,375	27,312	▲ 10.8	25,823	▲ 5.6	
	3. 新規求人数	5,178	5,515	▲ 6.1	3,976	▲ 30.2	
	4. 月間有効求人数	13,944	14,717	▲ 5.3	10,760	▲ 29.6	
	5. 紹介件数	8,280	11,045	▲ 25.0	8,992	▲ 7.9	
	6. 就職件数	2,020	2,708	▲ 25.4	1,864	▲ 8.4	
	7. 充足件数	1,890	2,545	▲ 25.7	1,762	▲ 7.3	
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値 0.51 原数値 0.57	0.49 0.54	0.02 0.03	0.37 0.42	0.14 0.15
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	42.3	43.6	▲ 1.3	37.6	▲ 4.7
		10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	36.5	46.1	▲ 9.6	44.3	▲ 7.8
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	1,740	2,156	▲ 19.3	1,728	▲ 0.7	
	12. 月間有効求職者数	10,189	11,255	▲ 9.5	10,892	▲ 6.5	
	13. 紹介件数	2,895	3,916	▲ 26.1	3,158	▲ 8.3	
	14. 就職件数	645	962	▲ 33.0	590	▲ 9.3	
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	37.1	44.6	▲ 7.5	34.1	▲ 3.0	
雇用 保険	16. 適用事業所数	19,523	19,482	0.2	19,344	▲ 0.9	
	17. 被保険者数	271,233	270,592	0.2	263,721	▲ 2.8	
	18. 離職票提出件数	1,210	1,566	▲ 22.7	1,470	▲ 17.7	
	19. 受給資格決定件数	1,065	1,338	▲ 20.4	1,286	▲ 17.2	
	20. 受給者実人員(所定内)	6,546	7,168	▲ 8.7	8,315	▲ 21.3	
	21. 総支給金額(千円)	762,291	874,975	▲ 12.9	1,042,692	▲ 26.9	

12月の雇用の動き

求職者1人当たりの有効求人数を示す平成22年12月の【有効求人倍率(季節調整値)】は、前月を0.02ポイント上回り0.51倍となった。

【有効求人】は、(季節調整値)前月比で3.2%増、前年同月比で29.6%増(10か月連続)。

【有効求職】は、(季節調整値)前月比で0.5%減、前年同月比で5.6%減(9か月連続)。

【新規求人】は、前年同月比で30.2%増(10か月連続)、【新規求職】は同3.6%減(2か月ぶり)となった。

平成22年平均の有効求人倍率は0.45倍となり、前年の0.39倍を0.06ポイント上回った。

平成22年平均の有効求職者は前年に比べ2.1%減少し、一方、有効求人は11.3%増加した。

【新規求人数】は、一般19.7%(536人)増、パート53.3%(666人)増、全体で30.2%(1,202人)増となった。

産業別にみると、卸売業、小売業が58.7%(300人)増で12か月連続の増加となり、医療、福祉は28.9%(279人)増、運輸業、郵便業は47.0%(135人)増でともに7か月連続の増加、宿泊業、飲食サービス業は63.3%(186人)増で6か月連続、学術研究、専門、技術サービス業は134.9%(147人)増で3か月連続のそれぞれ増加となった。一方、情報通信業は36.4%(43人)減で3か月ぶり、サービス業は8.4%(31人)減で2か月ぶりの減少となった。

【新規求職者数】は、一般4.7%(175人)減、パート0.3%(4人)減、全体で3.6%(179人)減となった。

“パートを除く常用求職者”を求職時の態様別にみると、事業主都合離職者は29.9%(335人)減で13か月連続の減少となり、自己都合離職者は1.7%(23人)減で2か月ぶりの減少となった。無業者は23.3%(67人)増で22か月連続、在職者は18.6%(138人)増で11か月連続のそれぞれ増加となった。また、常用求職者を職業別にみると、販売の職業は16.7%(104人)減で8か月ぶりの減少となり、事務的職業は8.4%(96人)減、生産工程・労務の職業は4.4%(52人)減でともに2か月ぶりの減少となった。一方、専門的・技術的職業は14.0%(94人)増で3か月連続、サービスの職業は3.6%(16人)増で2か月連続の増加となった。

“パートを除く常用求職者”を5歳刻みの年齢階層別(11区分)にみると、40歳～44歳は16.5%(66人)減、35歳～39歳は7.7%(36人)減、30歳～34歳は6.1%(30人)減、25歳～29歳は6.5%(37人)減で、いずれも2か月ぶりの減少となった。一方、19歳以下は7.2%(7人)増で11か月連続、60歳～64歳は7.4%(16人)増で7か月連続のそれぞれ増加となった。

【職業紹介状況】は、紹介件数が7.9%減の8,280件となり、就職件数は8.4%増の2,020件となった。うち、パートの紹介件数は5.2%減の2,084件となり、就職件数は11.2%増の627件となった。就職率(対新規求職者)は、4.7ポイント上回って42.3%となった。

本県の労働市場は、有効求人倍率(季節調整値)が0.51倍となり、対前月差では0.02ポイント上昇、前年同月差では0.14ポイント上昇し10か月連続の上昇となった。0.5倍台となるのは、平成20年10月の0.50倍以来2年2か月ぶりとなる。

新規求職については、前年同月差3.6%減で2か月ぶりの減少となった。無業者や在職者は引き続き増加しているが、事業主都合離職者は大幅な減少が続き、自己都合離職者も減少に転じたところである。一方、新規求人は情報通信業やサービス業など減少に転じるものもあったが、求人に占める割合の大きい卸売業、小売業、医療、福祉、宿泊業、飲食サービス業等の増加が寄与し、全体では30.2%増で10か月連続の増加となった。有効求人倍率は低い水準ながらも0.5倍台を回復するなど順調に上昇してきてはいるが、今後については、全国の景気が足踏み状態となっていることの影響等に引き続き注意が必要である。